

# 令和7年度畜産技術センター試験研究体系図

## I データ駆動型畜産の実践による生産性の高い畜産経営の実現

1 データを活用して生産性向上を図るための技術開発		研究期間
(1) スマート畜産を推進するための技術開発		
ア スマート畜産の導入指標の検証		
イ 家畜管理を効率的化するための技術開発		
<b>重</b> (1) 生体センサを用いた繁殖管理に関する研究	R4～R7	★(一)大
ウ 家畜ふん尿処理を省力化するための技術開発		
(1) 家畜用浄化槽の低コスト改修技術の検討【後掲】		
(2) 収益性の向上を支援するための技術開発		
ア 経営戦略を支援するための技術開発		
(1) ベンチマークによる畜産経営改善システムの確立	R6～R7	☆(一)
イ 生産性向上のための飼養管理技術の開発		
(2) 未経産牛におけるOPUを用いた後継牛確保対策	R2～R7	★(県)
(3) 技術シーズを創出するための調査研究		
ア 技術シーズを創出するための調査研究		
<b>新</b> (5) 「足柄茶」の加工残さ給与による「かながわ鶏」の鮮度維持効果及び肉質への影響	R7	(県)

## II 県民ニーズに応える魅力ある畜産物の提供

2 県産ブランド畜産物の生産を推進するための技術開発		
(1) 県産ブランド畜産物の生産を推進するための技術開発		
ア 畜産物に対する新たな県民ニーズの調査		
イ 高品質な県産畜産物を安定生産するための技術開発		
<b>重</b> (1) 系統豚を利用した高品質豚肉生産技術の確立	H15～R9	(県)
<b>重</b> (3) かながわ鶏の高付加価値化のための飼養管理技術の開発	R5～R9	☆(県)大
(5) 「足柄茶」の加工残さ給与による「かながわ鶏」の鮮度維持効果及び肉質への影響【前掲】		

## 3 安全・安心な畜産物を提供するための技術開発

(1) 安全・安心な畜産物生産技術の開発		
ア 安全・安心な畜産物生産技術の開発		
<b>新</b> (1) アニマルウェルフェアに対応した飼養管理による採卵鶏の生産性向上に	R7～R9	☆(一)
<b>新</b> (2) 機能性素材を利用した離乳期子豚の発育改善効果の検証	R7	(一)民

## III 環境と調和した畜産経営の実現と脱炭素社会への貢献

### 4 環境と調和した畜産経営のための技術開発

(1) 畜産経営から発生する臭気抑制技術の開発		
ア 畜産経営から発生する臭気抑制技術の開発		
<b>重</b> (3) 開放型畜舎での臭気抑制技術の開発	R6～R8	(県)

研究期間

(2) 家畜排せつ物処理における環境負荷低減技術の開発

ア 効率的な家畜ふん尿処理技術の開発

(1) 家畜用浄化槽の低コスト改修技術の検討

R1～R8

⊕機公⊕民

5 脱炭素社会に貢献するための技術開発

(1) 畜産生産における脱炭素化技術の開発

ア 温室効果ガスの発生を削減するための技術開発

⊠重 (1) 肥育牛からの温室効果ガスの発生を低減する飼養管理技術の開発

R5～R8

★ ☆ ⊕県 ⊕機 ⊕大

⊠重 (2) 炭素や堆肥を貯留した農地での飼料作物栽培体系の確立

R5～R7

⊖

⊠重 (3) 子実用トウモロコシの安定多収生産技術の開発

R4～R7

⊖

イ 地域資源を有効活用するための技術開発

(2) 肥育牛からの温室効果ガスの発生を低減する飼養管理技術の開発【前掲】

(2) 気候変動に適応するための技術開発

ア 暑熱環境に対応した飼養管理技術の開発

(5) イタリアンライグラス系統適応性検定試験

R5～R7

⊕受 ⊕機 ⊕公 ⊕独

(6) 環境要因が種雄豚精液性状に与える影響

R6～R7

⊖

⊠新 (7) 繁殖母豚の暑熱対策技術の開発

R7

⊖

⊠新 (8) 鶏舎での暑熱対策技術の開発

R7～R8

⊖

I 研究の方向

1 研究目標

(1) 試験研究課題 (大課題)

ア 試験研究課題 (中課題)

(1) 試験研究課題 (小課題)

⊠新 : 新規課題 5 課題

⊠重 : 重点研究課題 7 課題

★ : 令和7年度に要試験研究問題として提案されたものを実施中であるもの 3 課題

☆ : 令和6年度要試験研究問題として提案されたものを実施又は実施中であるもの 4 課題

17課題(小課題数)

財源(事業区分) ; ⊖ : 一般試験 9 ⊕県 : 県単事業(一般試験除く) 6 ⊕受 : 受託試験 2

外部連携 ; ⊕機 : 農研機構 3 ⊕独 : 独法 1 ⊕公 : 公設試 2 ⊕大 : 大学 3 ⊕民 : 民間 2